

News! 病院機能評価の認定を更新しました!

当院は、2020年9月に公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)を受審し、認定をいただきましたことを報告いたします。おかげさまで、数々の評価をいただくなか、「栄養管理と食事指導」について特に秀でているとの評価をいただくことができました。ひきつづき、みなさまによりよい医療と介護を提供できるよう、努力いたします。



医療法人財団 緑秀会



田無病院
田無病院介護医療院
〒188-0002
東京都西東京市緑町 3-6-1
TEL.042-461-2682

介護老人保健施設
エバグリーン田無
TEL.042-461-7200

田無訪問看護ステーション
TEL.042-461-7722

田無居宅介護支援事業所
TEL.042-461-7981

緑町地域包括支援センター
(西東京市委託事業)
TEL.042-461-7081



小規模多機能型居宅介護
みどりの樹
TEL.042-439-9311

グループホーム
みどりの樹
TEL.042-439-9315

〒202-0012
東京都西東京市東町 2-2-6

西東京市在宅療養連携支援センター
にしのみ
〒188-8666
東京都西東京市南町 5-6-13
田無第二庁舎 1階
TEL. 042-464-1311(市役所代表) 内線:12831
TEL.042-420-2860(直通)

社会福祉法人 緑秀会



特別養護老人ホーム
グリーンロード
〒188-0004
東京都西東京市西原町 2-2-11
TEL.042-467-7736

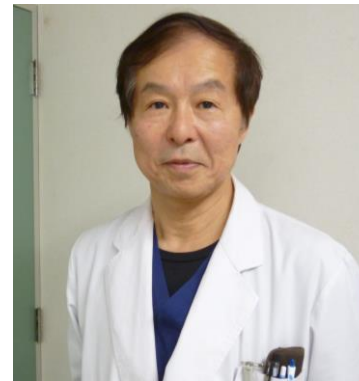
医療法人財団緑秀会 広報紙

グリーンレター
~Green Letter~

老いても足であるくまち 老いても口からたべるまち 西東京

Apr.
2021
春号
Vol.50

新年度を迎えるにあたって



田無病院院長
丸山 道生

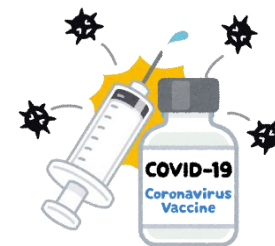
昨年度はコロナに始まり、コロナで終わりました。昨年末から正月にかけて、当院でもクラスターが発生し、地域の皆さまには、ご心配をお掛けしました。職員の皆様には、ほんとうに大変な苦勞と辛抱をおかけしました。緑秀会みんなの協力があって乗り切ることができました。この場をかりて感謝申し上げます。

今度は、再びクラスターを発生させないよう、感染予防の注意を怠らず、毎日の診療や看護、ケアに従事して参ります。職員みなさまも引き続きよろしくお願いいたします。

さて、次はワクチンです。4月から、職員に始まり、周囲にお勤めの医療従事者の方々、高齢者、そして西東京市の市民の方々へとワクチン接種が始まります。スムーズにワクチン接種が進むよう、これにもみんなの協力が必要です。

このコロナが我々に残してくれるのは、職員全員の協力の上に成り立つみんなの田無病院、みんなの緑秀会かもしれませんね。

さて、申し遅れましたが、今年度こそは良い年度になりますよう、力を合わせて精進していきましょう。



田無病院 基本理念と基本方針

基本理念

「楽しく生き、幸せに死ねる」地域医療と介護を目指します。

老いても足であるくまち

老いても口からたべるまち 西東京

You can walk, you can eat, forever! West-Tokyo

基本方針

- ① 急性期、慢性期、在宅を繋ぐ医療を提供します。
- ② 地域医療と介護の融合を目指します。
- ③ 患者さまとその家族の立場に立った医療と介護を提供します。
- ④ 職員が健康で楽しく働ける職場を目指します。

急性期を過ぎた 新型コロナウイルス感染症患者さんの受け入れ



田無病院 内科
清水 孝一

いままでも高齢の方たちの回復期、急性期のあとを担ってきたことから 2020 年夏以降周辺の急性期病院から COVID-19 後の患者さんの依頼を積極的に受け入れています。

最新の COVID-19 に関する知見に基づいて、軽症・中等症例では発病後 10 日以降、重症例(人工呼吸器に一時的に使用した患者さんなど)では 20 日以降で他者への感染性がほぼなくなるため所定の日数が経過したのち要請に応じて転院後機能回復や自宅、施設などへの退院調整を行っています。私たちの病院は受け入れに際して PCR 検査は不要です。これは PCR 検査そのものが感染性を示すものでないことがわかってきたという事実に基づいています。転院直前の PCR 検査がたとえ陽性であってもお引き受けしていますがそのような事例から我々が感染したというようなことは決してありません。

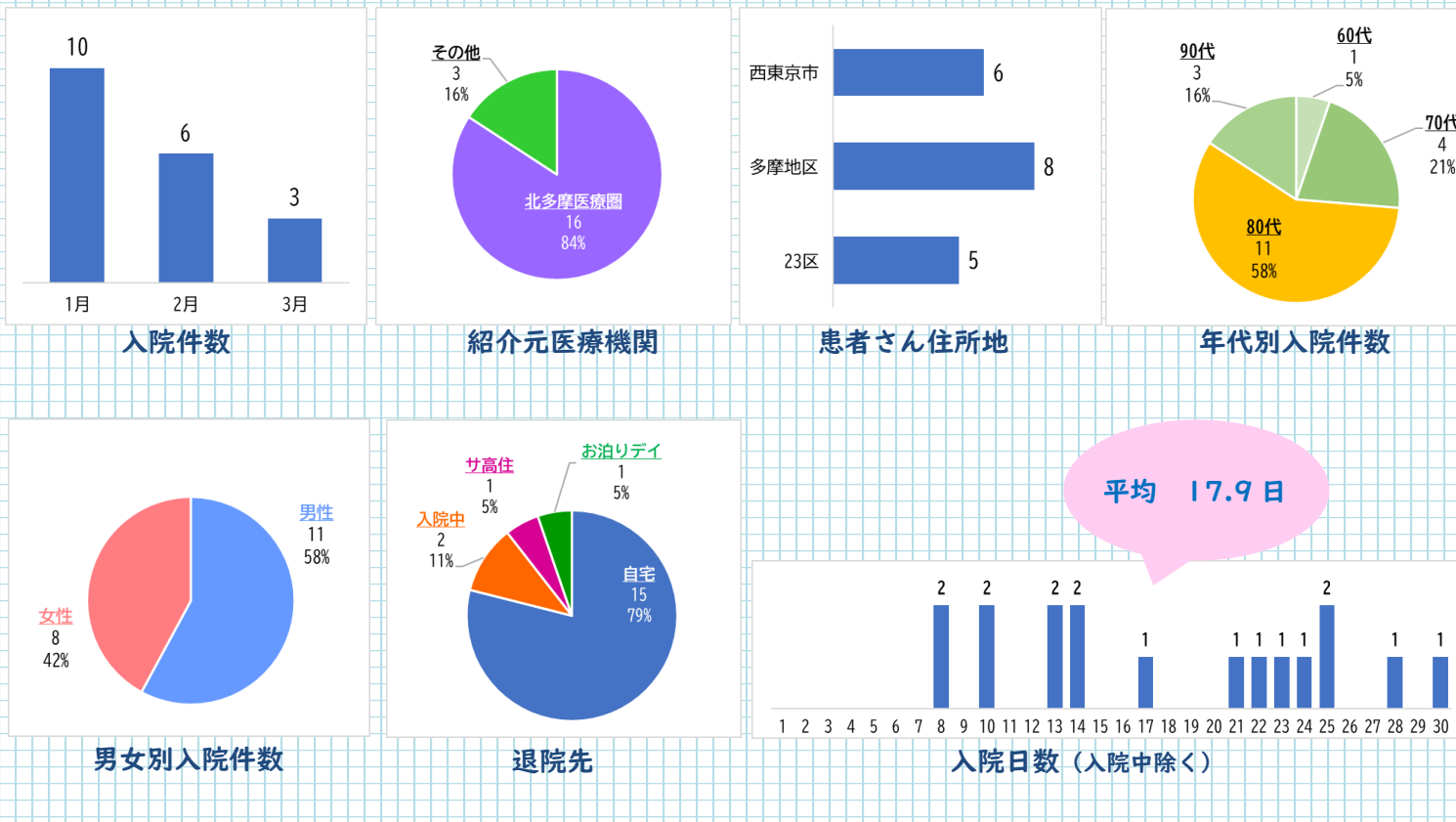
これからも田無病院は COVID-19 急性期後の受け皿としての機能を果たしていく所存であります。

2019 年 12 月、中国河北省武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症(以下 COVID-19)は翌 1 月には日本で患者さんが見つかり、瞬く間に日本と世界に広がっていきました。

日本では昨年 2020 年秋の症例の急激な増加から急性期病院への患者集中が起こり、また感染性に関しての情報が十分でないことに端を発した後方病床群(急性期を過ぎた患者さんたちの受け皿)への患者移動の遅れが医療崩壊につながって現在に至っています。

私たちは COVID-19 超急性期をお引き受けするには人的にも物的にも困難なことが多いのですが、

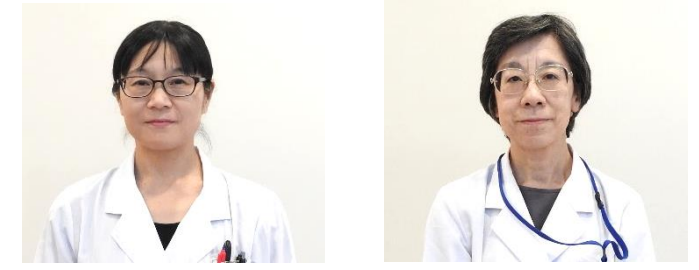
COVID-19 治療後の患者さん入院 DATA (2021 年 1~3 月)



News! “田無病院 認定栄養ケア・ステーション” を開設しました!

“栄養ケア・ステーション”とは、管理栄養士・栄養士が専門的な立場から、あらゆる栄養ケアに関する情報を提供する地域密着型の活動拠点です。

地域住民が栄養士・管理栄養士の指導・支援を受けられる窓口であり、地域の栄養士・管理栄養士の活動を市内に展開する拠点となるものです。



代表者
管理栄養士 工藤 正美

管理栄養士 田中 美江子



公益社団法人日本栄養士会では、事業所の所在する都道府県栄養士会のネットワークのひとつとして、「栄養ケア・ステーション」認定制度を設けています。
現在、東京都内の認定栄養ケア・ステーションは 32 区市 60 拠点 (2020 年 9 月 1 日現在) で、西東京市内の拠点は「田無病院認定栄養ケア・ステーション」です。

田無病院栄養ケア・ステーションにご連絡ください。

田無病院の基本理念「老いても足で歩く、老いても口から食べる」を、健康な食事ができる環境づくり、栄養管理などの栄養ケア活動により支えるものとして、田無病院内に設置し、2020 年 9 月に日本栄養士会の認定を得ています。

栄養、食事に関するご相談をお受けしています。地域の皆様が、住み慣れた場所で、自分らしい生活していくための、健康づくり、病気の予防、治療から介護、介助まで、「切れ目のない食支援」を管理栄養士が専門的な立場からサポートします。

地域住民はもとより、行政、医療、福祉機関からのご依頼に対応していきます。

「管理栄養士に相談したくても、どこで聞けばいいのかわからない」という声をよく、耳にします。

こんなことはありませんか？

- ・生活習慣病があって食事に関する注意が言われたが、具体的にどうすればいいのかわからない。
- ・免疫力を付ける食事とは？
- ・フレイル予防の食事について、自分ですぐにできることを聞きたい。
- ・食事が少なく、栄養補助食品を勧められたけど、何を飲めばいいの？
- ・利用者さんがあまり食べなくなった。体重も減っているように感じる。
- ・食べにくい物があり、むせやすくなったように感じる。食事はどんな風にしたいの？
- ・嚥下食にすると食べやすいといわれたけど、どうやって作るの？

【サービス内容】

- <相談> 食・栄養に関する相談
- <訪問> 食・栄養に関する相談(訪問型)
- <診療> 診療報酬・介護報酬にかかる業務(医療・介護事業者向け)
- <地域> 地域包括ケアシステムにかかる事業関連業務(自治体向け)

連絡先

田無病院
認定栄養ケア・ステーション
☎042-461-2682 (代表)
(内線 577)
月・火・木 10~16時
(訪問中で対応できないことがあります。ご了承ください。)